

ピックアップ

お医者さんに 感謝の気持ちを 伝えよう!

おらほの産科小児科を守る会（能代市）

- 元気のみなもと!「高校生がアドバイス」
- NPOよろず支援員にご相談ください
- 憩うところ「おしゃべりサロン・縁側で日なたぼっこ」
- 情報あらかると
- 地域ほっとにゆーす

「秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会
現地特派員(県北地区担当)」

くすだな

6
2010



「ありがとうメッセージ」をお医者さんへ
(2・3ページをご覧ください)



お医者さんに 感謝の気持ちを 伝えよう!

～おらほの産科小児科を守る会(能代市)～

能代市内には子どもを出産できる施設が山本組合総合病院しかない——そんな危機的状況に直面した能代市の母親たちが中心となり、まずは「自分たちにできること」から考え、行動しようと設立したのが「おらほの産科小児科を守る会」です。会報やブログを通じて、医療現場の厳しい実態を理解してもらうとともに、イベントへの参加や小児救急講習会の開催などを通じて医師と患者、母親同士の交流を深め、地域医療の課題を見直していこうと活動を展開中です。

会発足のきっかけは、2009年8月に能代市山本郡医師会が開催した医療フォーラム「地域の医療を考える～小児救急を通して」でした。参加者は医療関係者、能代市子育て支援センター登録サークルの母親たちなど。丹波新聞社の足立智和記者が講演で紹介した、兵庫県の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動※1に興味をもった参加者が、足立記者や保健所の後押しを受けて、自分たちの地域

でもできる活動を始めました。

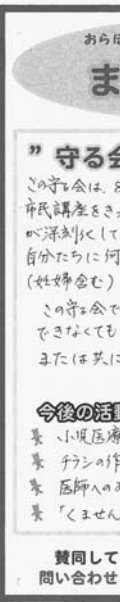
柏原病院の守る会では、同病院の小児科閉鎖の危機に際し、原因がお医者さんの過酷な労働実態や、患者の無理解によるコンビニ受診※2にあることを知った子育て世代の親たちが、その現状を多くの人に伝え、お医者さんを大切にする地域づくりを進めています。

「おらほの産科小児科を守る会」はスローガンに、

- 受診の前に考えよう
- かかりつけ医をもとう
- 先生に「ありがとう」の気持ちを伝えよう

を掲げ、市民への周知、呼びかけをしています。10月に会報「まもるすべ☆」を創刊して、病院、薬局から子育て支援センター、幼稚園、ドラッグストアなど50ヶ所に配布、12月にはブログ「まもるすべ☆WEB」を開設しました。同月には初イベント「ありがとうカード&くませんせいのSOS」を開催し、2010年2月には市民プラザに常設パネルを設置し

お医者さんへのクリスマスカード作りと、地域医療再生をテーマにした絵本「くませんせいのSOS」のペープサート上演を行った初イベント→
←のしるまち灯り・冬に参加。子育てママの手作り作品や古着をフリマ出店



産科小児科を守る会 だより

もるすべ☆

「動き出す!!」

3月9日に小児救急に関わる方々に、全国的に医師不足が深刻な産科・小児科の現状を伝えるべく、市内の母親10人ほどで発足しました。

市内外に問わず、集りに参加の趣旨を理解し賛同してくれる人、活動してくれる人を募集しています。

2017年4月1日「もるすべWEB」
<http://mamorusube-japan.jp/>

活動内容
 ・ブログやメールでの情報発信
 ・印刷物の作成・発行、飛脚の依頼など
 ・市内のSOS お話会

いただける方募集しています!
rolling_coconut@yahoo.co.jp (代表 大谷美帆子)

「お医者さんから...」

「産科は、今、日本組合総合病院(おらほ)の産科が唯一です。産科は、人口が減少している中で、救急受診者数はここ数年で減少しています。産科は、救急受診者数はここ数年で減少しています。産科は、救急受診者数はここ数年で減少しています。」

石川こどもクリニック 石川幸哉先生

おらほの産科小児科を守る会 スローガン

- * 受診の前に考えよう
- * かかりつけ医をもとう
- * 先生に「ありがとう」の気持ちを伝えよう

知って下さい!現状を!!

産科は、今、日本組合総合病院(おらほ)の産科が唯一です。産科は、人口が減少している中で、救急受診者数はここ数年で減少しています。産科は、救急受診者数はここ数年で減少しています。産科は、救急受診者数はここ数年で減少しています。



会報「もるすべ☆」を創刊。メンバーが集まり会報やパネル作りを行っています

たほか、能代まち灯りイベントではフリーマーケット出店でも参加しました。

3月のサンキューデー(3月9日)には、小児救急講習会を開き、参加者に「ありがとうメッセージ」を書いてもらい、お医者さんに届けました。感謝の気持ちを込めたカードは、市民一人ひとりの、かかりつけ医をもつという意識付けにもつながっていきます。4月からは月1回の予定で誰でも気軽に参加できる定例会を開催して活動の輪を広げています。

「『お医者さんを大事にしたい』という市民の動きを大切に思っている」というお医者さんがいます。代表の大谷美帆子さんは「私たちの活動を応援してくれているのかな」と笑顔をみせます。「『ありがとうメッセージ』を受け取ったお医者さんは、夜のビールがおいしいはず(笑)。ひとときの癒しになってくれれば」と願い、感謝の気持ちを届けています。



社会保険病院に「ありがとうメッセージ」を届けて来ました。サンキューデーに参加したお母さんたちの心温まるメッセージは、小児科の大塚先生や看護師さんの表情を緩ませていました

活動の基本は「無理をしないこと」。大谷さん自身4月に出産したばかりです。「まずは多くの人に活動を知ってもらうことから始めます。すぐに結果を求めない。無理せず長続きする活動をめざします」と今後について話します。多くの仲間たちが、始まったばかりの活動を支えています。

活動に対する励ましの声は、産科小児科に関係ない世代の方からも生まれています。その声は「守る会」を勇気づけ、更なる活動の励みとなっています。医師と患者の関係は限られた世代の問題ではありません。この活動は、地域医療の課題を地域全体で見つめ直すきっかけとなります。

- ※1 兵庫県の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動はホームページをご覧ください。<http://mamorusyounika.com/>
- ※2 コンビニ受診とは、軽症の患者が、夜間や休日に救急外来を訪れて診療を受けること。重症患者への対処が困難化したり、医師の疲弊を招くなどの問題が指摘されている。(出典:大辞林第二版)

おらほの産科小児科を守る会

(代表/大谷美帆子)

連絡先 rolling_coconut@yahoo.co.jp

守る会ブログ「もるすべ☆WEB」

<http://mamorusube.jugem.jp/>



元気のミナモト!

地域の人たちと学校や青少年が積極的に係わることで、子どもたちの“生きる力”を育むとともに、地域に活力が生まれています。



高校生がアドバイス

高校生のボランティア活動※1として、十和田高等学校食物部のみなさんが花輪市民センターで行われているサタちびっ※2の活動に挑戦しました。

今回のサタちびっは、B-1グランプリをもじった「C-1グランプリ」で、小学生が「レシピの考案→買い物→調理→プレゼン（料理のアピール）→試食→グランプリ決定」を体験します。ボランティア活動の内容は、○小学生がケガをしないように見守る ○アイデアに行き詰まった時にヒントをあげる ○アドバイスをしながら、調理や後片付けを手伝う ○自分自身も楽しむことです。

午前中は、集まった小学生、高校生、講師の鹿角青年会議所メンバー、センタースタッフがグループに分かれ、地産



地産を意識したレシピを考え、予算に合わせた食材選び、役割分担を決め、商店街での買い物へ出発。高校生は悩んでいる子にアイデアを出したり、絵を書いたり、手をつないで買い物したりとコミュニケーションを深めていました。

午後の調理では、エプロン姿の高校生が学校での活動の成果を発揮。野菜の洗い方、包丁の使い方、飾り付けなどをアドバイスしていました。

今回のボランティア活動は長丁場で、高校生も疲れているはずなのに、最後まで遊びたがる子どもたちと笑顔で触れ合っていました。感想を聞いてみると、楽しかったのは子どもたちの意外な行動や買い物で一緒に考えたり、探したりしたこと。大変だったのは「教える」ということ。機会があれば、また子どもたちと係わる活動に参加したいと生き生きしていました。

NPOよろず支援員にご相談ください!

多様な地域課題の解決を地域のコミュニティを活かしながらビジネスの手法で行っていきます。
コミュニティビジネス（CB）支援員／浅利博樹



NPO等市民活動団体の情報発信を支援します。
まずは、秋田県市民活動情報ネットへ登録を!
IT支援員／安達重之

企業の皆様から社会貢献活動の実践事例や、社会貢献活動へのご意見ご要望などをお伺いしています。
CSR支援員／羽澤可奈子

お問い合わせ先は
TEL.0186-49-8553
(北部市民活動サポートセンター内)



調理開始！
包丁の使い方、
盛り付け方、後片
付けをアドバイス



※1 鹿角市が小学生を対象とした事業に高校生によるボランティア活動を募集している「高校生の社会参加活動推進事業」の一環。高校生がさまざまな体験活動や地域との交流活動に参加することで、社会性や自主性を育み、地域を愛し、自らの手で地域づくりに携わっていきような後継者の育成を図るもので、地域の大人と子どもをつなぐ橋渡し役としての活躍を期待しています。

☎ 鹿角市教育委員会生涯学習課 TEL.0186-30-0293

※2「サタちびっ」は、鹿角市版の放課後子ども教室事業で、月1回土曜日の1日を子どもたちの安全・安心な活動場所として、さまざまな遊び体験や交流活動の場として実施しているものです。

☎ 花輪市民センター TEL.0186-23-3351

第3回（平成22年度第1回）

あきたスギッチファンド助成



秋田県内に拠点を置き、地域の課題解決をめざすために活動をする、NPO、市民団体等を資金面で支援します。

【助成の種類と金額】

○本ファンド／10万円コース×9団体、30万円コース×7

団体※様々な活動に助成

○冠ファンド／TOHO子育て安心ファンド（東邦技術株式会社）30万円※子育ての活動に助成

だんまや水産秋田まちづくりファンド（株式会社マジマックス）30万円※まちづくりの活動に助成

【応募締切】6月16日（水）

応募団体が活動への思いを伝える場！公開審査会

【日時】7月17日（土）10:00予定

【会場】遊学舎（秋田市上北手荒巻字塚切24-2）

☎ 特定非営利活動法人あきたスギッチファンド

事務局 TEL.018-839-8941

http://www.akita-kenmin.jp/akita-npo-fund/

憩うところ

ひとりで過ごすのもなんだか寂しいとき、だれかと話したくなるとき、みんなでいるとほっとするときがあります。人と人がふれあい、つながる場所。

おしゃべりサロン

「縁側で日なたぼっこ」

三種町八竜地区のおしゃべりサロン「縁側で日なたぼっこ」は、気軽におしゃべりできる場として2008年7月に開設され、月に1回八竜農村環境改善センター（八竜公民館）で開催されています。運営しているのは、ふれあいサポーター養成講座（町主催）を受講した人を中心に有志が立ち上げた「八竜どうもの会」（会員14名）です。

サロンは、コーヒーを飲みながら、会員やサロンを訪れた方の手作りお菓子や作品から話題が広がり、ちょっとした手作り教室になったり、歌を歌ったり、その時々で押しつけでない楽しく和やかな雰囲気に包まれています。2009年10月からは、保健師による「健康相談」も同時に行われており、気軽に相談できることも魅力です。

当日のサロン運営は、会員の負担を減らすため当番制にしていますが、常に5～6人が集まっています。会員同士が会える場にもなっているため会員にとっても楽しいひとときとなっています。

代表の清水愛子さんは、地域住民のふれあう場が少ないことから、「ささやかだけれど、気軽におしゃべりできて、ぬくもりを感じ合えて、笑い合える場」の提供、「お客様と迎え入れる人（会員）とがとけ込むような関係にしたい」と活動しています。また、サロンを訪れる人が増えているのは「地域の人が活動を支えてくれているから」と地域のつながりを大切に考えています。

おしゃべりサロン「縁側で日なたぼっこ」

☎ 三種町保健センター「八竜どうもの会」担当

TEL.0185-83-5555

【開催日時】
毎月第4木曜日 13:30～15:30
【会場】
三種町八竜農村環境改善センター



イベント情報

北秋田市 笑学校イン北秋田市民病院

【日時】6月20日(日)13:00~15:00
 【会場】JA秋田厚生連 北秋田市民病院(北秋田市下杉字上清水沢16-29)
 【内容】クリニック漫談、ものまね漫談、バラエティー漫談、秋田弁シャンソン、歌謡漫談、アカデミック漫談
 【参加費】無料、申込不要
 ㊟日本笑い学会秋田県幹事 人星亭 喜楽駄朗 TEL.090-5232-8009

秋田市 車椅子レクダンス講習会(兼インストラクター養成講座)

【日時】6月27日(日)13:00~16:30
 【会場】遊学舎(秋田市上北手荒巻字塚切24-2)
 【対象】車椅子ダンスやボランティア活動に関心のある人
 【内容】車椅子レクダンスの新歌講習とインストラクター養成
 【定員】20名
 【参加費】講習会は無料。インストラクター養成講座3,000円※要申込
 ㊟NPO法人車椅子レクダンス普及会・秋田支部
 TEL.090-7337-6175(担当/高橋)

由利本荘市 ユースボランティア交流会

【日時】7月10日(土)~11日(日)
 【会場】秋田県立岩城少年自然の家(由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢260-8)
 【対象】高校・大学等のボランティアグループ、ボランティア活動に関心のある青少年
 【内容】プロジェクトアドベンチャー、野外炊飯、活動紹介、演習
 【定員】30名(先着順、定員になり次第締切)
 【申込締切】6月25日(金)
 【参加費】1,500円
 ㊟申込:秋田県青少年交流センター
 TEL.018-880-2301
 秋田県立岩城少年自然の家
 TEL.0184-74-2011

大館市・能代市 平成22年度障害者スポーツ教室

能代山本地区
 【日時】7月6日(火)10:00~11:30
 【会場】能代市総合体育館(能代市大町9-53)
 【対象】能代市、八峰町、藤里町、三種町に在住の身体、知的、精神障害者(在宅者)
 大館鹿角地区
 【日時】7月27日(火)10:00~11:30
 【会場】大館市樹海体育館(大館市上代野字八幡岱29-4)
 【対象】大館市、鹿角市、小坂町に在住の身体、知的、精神障害者(在宅者)
 【内容】卓球バレー、フライングディスク
 【参加費】無料
 【申込締切】能代山本地区 6月29日(火)、大館鹿角地区 7月20日(火)
 ㊟申込:秋田県障害者スポーツ協会
 TEL.018-864-2750(スポーツ推進員/佐藤 慶子)

募集情報

ヤングミッション はっしん
若者会議!行動力発心参加者募集
 【内容】地域の課題や理想像を語り、今できることを考え、実際にできることに挑戦します。各地区でワークショップ4回、実践行動1回の計5回実施。
 【開催地区・開催日】○三種町/1回目 終了。2回目 6月13日(日) ○上小阿仁村/1回目 6月19日(土) ○北秋田市/1回目 7月24日(土) ○鹿角市/1回目 8月21日(土)予定
 【対象】15~34才ぐらいまでの方
 【参加費】無料
 【主催】秋田県
 ㊟申込:秋田県北NPO支援センター
 TEL.0186-49-3485(担当/島山・藤盛)

「車と笑顔写真コンテスト」作品募集

テーマ:「車と笑顔」
 【応募部門】○一般車両部門/自家用車、営業車など福祉車両以外で「車と笑顔」のテーマに合った写真○福祉車両部門/日本財団福祉車両配備事業における福祉車両と笑顔をテーマにした写真
 【表彰】グランプリ、賞金20万円各部門1名ほか
 【応募締切】6月30日(水)

㊟日本財団広報チーム 写真コンテスト係
 TEL.03-6229-5131
<http://www.nippon-foundation.or.jp/org/news/10051301.html>

第13回まちかどのフィランソロピスト賞

【助成対象】「一般部門」社会のために私財を投じた個人またはグループ(故人も可)「青少年部門」社会のために寄付活動(募金活動含む)をした18歳未満の個人またはグループ(学校単位も可)
 【応募締切】7月12日(月) 消印有効
 ㊟「まちかどのフィランソロピスト賞」事務局 担当:田島・松下
 TEL.03-5205-7580
http://www.philanthropy.or.jp/contents/activity/machikado_2010.html

あしたのまち・くらしづくり活動賞

【応募対象】地域住民が自主的に結成し運営している団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等で、地域に即した発想・リーダーシップ・方法などにより、地域づくり・くらしづくり・ひとつづくり活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげて活動している団体
 【表彰】内閣総理大臣賞1点ほか
 【応募締切】7月30日(金)
 ㊟(財)あしたの日本を創る協会「あしたのまち・くらしづくり活動賞」係
 TEL.03-3251-6681
<http://www.ashita.or.jp/prize/index.htm>

第45回「NHK障害福祉賞」作品募集

障害のある方、障害のある方とともに歩んでいる方の、体験記録を募集します。
 【募集部門】○障害のあるご本人の部門○障害のある人とともに歩んでいる人の部門
 【表彰】最優秀賞ほか
 【応募締切】7月31日(金) 消印有効
 ㊟NHK厚生文化事業団「障害福祉賞」係
 TEL.03-3476-5955
<http://www.npwo.or.jp/info/2010/45fukushishou.html>

第7回パートナーシップ大賞

【応募対象】日本に所在するNPO(法人格の有無不問)と企業の協働

【表彰】パートナーシップ大賞グランプリ(NPOに記念盾と副賞30万円、企業には記念盾)、パートナーシップ賞5事業

【応募締切】7月31日(土)

◎特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)パートナーシップ大賞募集係

TEL.052-762-0401

<http://www.psc.or.jp/>

助成金情報

子育て家庭支援団体に対する助成「絵本プレゼント」

【助成対象】親子のきずなの大切さを訴える啓発活動や接し方・コミュニケーションの支援等を行う団体

【助成内容】オリジナル絵本、副読本、パンフレット、生命保険協会の既刊絵本リスト100冊の中から好きな絵本3冊

【応募締切】6月30日(水)予定

◎生命保険協会 広報部内

TEL.03-3286-2643

<http://www.seiho.or.jp>

子どもへの暴力防止プロジェクト助成

【助成対象】子どもへの暴力・虐待の防止、予防、ケア、教育、啓発などの活動に携わる団体やグループ

【助成金額】総額4,500万円。助成総額の範囲内で1団体あたりの助成額に下限・上限はありません

【応募締切】7月2日(水)必着

◎朝日新聞厚生文化事業団「子どもへの暴力防止助成」受付事務局

TEL.06-6201-8008

<http://www.asahi-welfare.or.jp/info/2010/tokyo/bouryokubousi.html>

平成22年度公益信託農林中金80周年森林再生基金

国内の荒廃した民有林の公益性を発揮させることを目指した活動であって、地域の森林に対する長期ビジョンをもった活動でかつ費用対効果に十

分配慮した創造性が高いと認められる事業に対する助成。

【助成金額】1件あたり限度額30百万円(総額100百万円予定)

【応募締切】7月16日(金)当日消印有効

◎公益信託 農林中金80周年森林再生基金 全国森林組合連合会 林政・組織部

TEL.03-3294-9714

<http://www.zenmori.org/>

市民活動助成

【助成対象】○高齢者が活動する市民活動団体○高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体

【助成金額】1年間。原則として1件当たり100万円を上限といたしますが、助成額については活動内容、及び規模により査定をさせていただきます。

【応募締切】7月30日(金)必着

◎財団法人 ユニベル財団

TEL.03-3350-9002

<http://www.univers.or.jp/top.html>

日野自動車グリーンファンド

都市並びにその周辺に残された自然環境の保全、緑化、調査研究を行う団体・グループ・個人等

【助成金額】総額750万円程度

【応募締切】7月31日(土)当日消印有効

◎財団法人日野自動車グリーンファンド 事務局

TEL.042-586-5369

<http://www.hino-global.com/j/csr/greenfund/promotion.html>

財団法人松翁会社会福祉助成

社会福祉に関する諸活動に対して援助を行い、もってわが国社会福祉の向上に寄与することを目的とし、社会福祉に関する事業、研究に対して助成を行います。

【助成金額】原則として80万円を限度(総額1,000万円)

【応募締切】7月31日(土)当日消印有効

◎財団法人松翁会

TEL.03-3201-3225

<http://shouhkai.or.jp/promotion/index.html>

平成22年度(第30回)社会福祉助成金

社会福祉に関する諸活動に対して助成を行います。主として、障害児者(身体、知的、精神)の福祉向上を目的する事業や研究に助成しています。

【助成金額】○事業助成/1件当たり、原則として15万円以上100万円を限度(年間総額3,700万円程度)○研究助成/1件当たり、原則として200万円を限度(年間総額800万円程度)

【応募締切】7月31日(土)必着

◎財団法人みずほ福祉助成財団 事務局

TEL.03-3201-2442

<http://homepage3.nifty.com/mizuho-fukushi/>

少子化対策応援ファンド事業

【助成対象】①子ども、子育て支援に関する事業②若者定着支援に関する事業③仕事と家庭の両立支援に関する事業④独身男女の出会い・結婚支援に関する事業⑤その他

【助成金額】限度額10万円または30万円(初年度は助成対象経費の10/10以内、2年目1/2以内、3年目1/3以内)

【応募期間】7月1日(木)~8月10日(水)必着

◎秋田県企画振興部少子化対策局

TEL.018-860-1249

美の国あきたホーム>暮らし・環境>少子化対策>少子化対策応援ファンド事業助成事業募集

お知らせ

元気なムラづくり“チャレンジ”事例集2009

秋田県では平成21年7月より「元気なムラづくり“チャレンジ”支援事業」を実施しております。「地域を何とか元気にしたい!」という“熱い思い”で立ち上がり、地域の課題解決や活性化に向けて元気ムラづくりにチャレンジした平成21年度採択団体(11団体)の取り組みをご紹介します。

美の国あきたホーム>組織別案内>企画振興部>地域活力創造課活力ある農村集落づくり推進チーム>元気なムラづくり“チャレンジ”支援

秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会は、秋田県内でグリーン・ツーリズムを行う農家の方々や市町村、NPOなどと連携し、密接な情報交流を行いながら、秋田県内の農山漁村の活性化を図ることを目的として平成11年6月に設立されました。昨年9月から現地特派員3名(県北、県央、県南)が、県内隅々を駆け回り、農山漁村に住む人の息づかいをホームページから発信しています。今回は県北地区担当の八柳好美さんにお聞きしました。



これまでの取材を通じて感じるこ

現地特派員として活動をはじめて10ヶ月目になります。この間、本当にたくさんの人とお会いし、いろいろなお話を聞かせていただきました。

先月は、鹿角で10年もの間チューリップを植え続け、地域の人に憩いの空間を与え続けるおばあちゃんに出会いました。今年85歳になるおばあちゃんですが、長い人生、いろいろな苦労があったなか、チューリップに囲まれて過ごす「今」が一番幸せだとお話してくれました。そうした人生の大先輩のお話を聞くことで、わたしも自分の人生や幸せについて考えさせられています。そして、ずっとその土地で暮らし続け、自然や風景、伝統を守り続けてきたのは、そういう「地元」の人なのだ気づくたびに、それを伝えさせて頂いている自分の仕事の責任と役割を再認識し、感謝の気持ちとともに、その人々の気持ちに寄り添った取材をしていかなければ、と感じています。

今後の抱負

今は、これからどんな人に会えるのか、どんな土地に行けるのか、その「出会い」を楽しみにしています。わたしたち現地特派員の伝える秋田の農山村の風景が、より多くの人の心に届いて、秋田を知ってもらい、足を運んでもらって、そして秋田を好きになってくれる人が増えれば、それ以上の幸せはありません。農山村で待つお母さんたちも、訪ねて来る人との交流から毎日元気をもらっています。グリーン・ツーリズムを通じて、都会も田舎も関係なく、人々の心に癒しと元気を与えられる、そのきっかけになる情報をこれからも発信し続けていきたいと思っています。

秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

TEL.018-829-5895(秋田県ゆとり生活創造センター 遊学舎内)

現地特派員(県北地区担当)八柳好美

ホームページ「美の国秋田・桃源郷をゆく」

<http://www.akita-gt.org/>

ブログ「花まるっ元氣通信」 <http://akitagt.exblog.jp/>



秋田県市民活動情報ネット

秋田県の市民活動団体の情報が満載!

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



市民活動団体等の支援

◆打ち合わせ・会議スペース ◆コピー機・印刷機の活用

◆インターネット、掲示板の活用 ◆図書・関係資料

※北部男女共同参画センターでは上記の利用ができます。利用内容によって料金がかかる場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

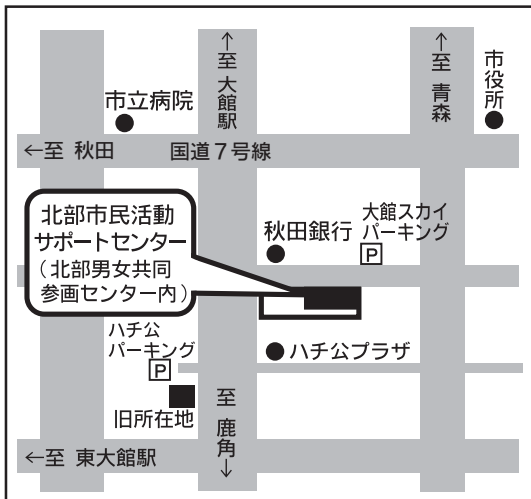


情報を募集中!

イベント・活動情報など掲載記事を募集しています。お気軽にご連絡ください。



《編集後記》守る会の大谷さんたちは子育て真っ直中。慌ただしい日々の中で「自分たちのできることを」行動に移しています。私もまずは地域に目を向け、できることを考えてみます。



んだすな

「んだすな」には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという想いが込められています。

平成22年6月10日発行

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1

TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3873

編集：北部市民活動サポートセンター

〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1

TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。○この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり23.3円です。